

【教育目標】

- よく考え、最後までやりぬく子(知育)
- 思いやりがあり、助け合う子(徳育)
- 進んで体をきたえる子(体育)

【めざす学校像】

児童や教職員、一人一人が持つ良さと強みが発揮できる学校
～6年生がお手本となる学校～

学校だより

「はんだますい」

開き・関わり・育む

～坂田っ子「学びのスタイル」～



机上の整理(鉛筆・消しゴム・定規・赤鉛筆)



「チャイムと同時に黙想をし、授業を開始



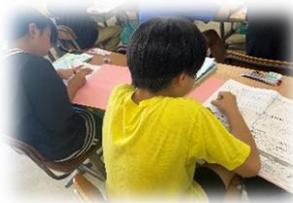
「めあて」を立てて学びに向かいます。



グループ学習で学びを深めます。



発表で考えを共有しながら学習をまとめます。



「何を学んだか」学習の振り返りを各自が行います。



第3号 (R7.5.16)
坂田小学校
校長 金城美奈子



～1年生を迎える会～

5月14日(水)体育館において1年生を迎える会がありました。1年生が早く学校生活に慣れて、楽しく過ごせるように児童会が計画してくれました。

各学年からのダンスや心のこもったプレゼント、心温まる歓迎のあいさつ等があり、1年生も終始笑顔で大喜びでした。1年生を迎える会の計画・司会・進行をしてくれた児童会役員は、すばらしい運営でした。また、今回の会を催すにあたり、6年生の子ども達が、ひな壇の設置、やアーチの準備、片付けなど役割分担し協働体制で進めることができました。全校児童の参加態度もとてもよかったです。これからも1年生が楽しい学校生活が送れるように、いろいろなことを優しく教えてあげてくださいね。



～「世界の果ての通学路・自分の壁」～

5月7日(水)に「世界の果ての通学路・自分の壁」と題して、校長講話を行いました。世界にはいろんな通学路を通して学校に来ている子ども達がいる様子を紹介した後に、「なぜ学校に行くのか。」「なぜ、勉強するのか。」を一緒に考えていきました。

出てきた答えは「夢をかなえたいから」です。子ども達は、いろんな夢をもっています。中には、まだ何も浮かばない子もいます。だからこそ、色んなお友達の考え方を知り、色んなことを学んで、自分の好きなこと、興味のあることを見つけてほしいと思います。また、「夢をかなえる四つの力」(①関わる力②振り返る力③やり抜く力④見通す力)について話をしました。

さらに、自分の壁を越えることに夢中になっている大谷翔平選手は、「無理だと思わないことが1番大事」と言っていることから「自分の壁を打ち破る、自分に勝つことが大事である」ことを伝えました。

ディズニーランドを作ったウォルト・ディズニーは、「夢をみることでできるなら、それは実現する」と言っています。坂田っ子のみなさんのこれからの楽しみです!夢実現にむけて、がんばりましょう!

無理だと思わないことが1番大事

